

水戸赤十字病院 がん診療に関する研修会

平成24年7月19日（木）水戸赤十字病院のがん診療に関する研修会に
当いばらき診療所とうかいの西村院長、いばらき会看護部部長
（兼訪問看護ステーションとうかい 管理者）の青木看護師が講師
としてお招き頂きました。

この研修会は、水戸赤十字病院が茨城県がん診療指定病院の事業の
一環として地域の医療従事者を対象に行うもので、今回は在宅療養に
おける緩和ケアをテーマに開催されました。演題としては西村院長の
「在宅終末期ケア（在宅での看取り）」、青木看護部部長の「明日もおう
ちで」の内容で行われ、事例を含めた在宅医療・訪問看護の実際につ
いての内容が中心の講義となりました。



参加者は合計133名、職種内訳は医師10名、看護師68名、リハビリスタッフ9名、その他薬剤師・
MSW・事務系他で46名との事でした。今回の特徴としては、一緒に在宅ケアを支える連携各社から
のご協力を頂き、在宅で使用する人工呼吸器（フィリップス・レスピロニクス合同会社様）、在宅酸素濃縮器
（帝人在宅医療株式会社様）、訪問入浴（ニチイケアセンターひたちなか様）の在宅での使用状況がわかる
ような展示も実現することができました。

普段在宅医療と関わるのが少ない部署の方は、「最近は在宅でもここまでできる」という事に驚きを隠せ
ない方もおられたようでした。

後日水戸赤十字病院の参加者の方から多くの感想・ご意見・ご質問を頂き、講師より返信させていただきました。

水戸赤十字病院がん診療推進課の担当者様はじめ、関係者の方々に心より御礼申し上げます。



講師を紹介する内田先生



講義中の様子



訪問入浴の展示